

# 名古屋市消費者物価指数の計算式について

## 1 指数算式 ※基準時加重相対法算式（ラスパイレス型）

以下の算式により品目別価格指数(Pt/Po)を各品目のウェイトで加重平均して最下位類の指数を算出する。次に各最下位類の指数を当該類ウェイトで加重平均して上位類の指数を算出し、同様に順次その上位類の指数を算出して総合指数まで算出する。

指数計算過程では端数処理は行わない。表章は小数第2位を四捨五入し小数第1位までとする。

$$I_t = \frac{\sum_{i=1}^n \frac{P_{t,i}}{P_{0,i}} w_{0,i}}{\sum_{i=1}^n w_{0,i}} \times 100$$

( I : 指数 p : 価格 w : ウェイト i : 品目 o : 基準時 t : 比較時 )

※年平均指数は、品目及び類ごとに1月から12月までの月別指数（端数処理前の月別指数）を単純平均して算出する。表章は小数第2位を四捨五入し小数第1位までとする。

※年度平均指数は、品目及び類ごとに4月から翌年3月までの月別指数（端数処理前の月別指数）を単純平均して算出する。表章は小数第2位を四捨五入し小数第1位までとする。

## 2 変化率

端数処理前の指数値により計算する。表章は小数第2位を四捨五入し小数第1位までとする。

$$(1) \text{前月比} (\%) = \frac{I_{\text{当月}} - I_{\text{前月}}}{I_{\text{前月}}} \times 100 \quad (2) \text{前年同月比} (\%) = \frac{I_{\text{当月}} - I_{\text{前年同月}}}{I_{\text{前年同月}}} \times 100$$

( I : 指数 )

( I : 指数 )

$$(3) \text{前年比} (\%) = \frac{I_{\text{当年}} - I_{\text{前年}}}{I_{\text{前年}}} \times 100 \quad (4) \text{前年度比} (\%) = \frac{I_{\text{当年度}} - I_{\text{前年度}}}{I_{\text{前年度}}} \times 100$$

( I : 指数 )

( I : 指数 )

## 3 寄与度

端数処理前の指数値により計算する。表章は小数第3位を四捨五入し小数第2位までとする。

$$\text{項目Aの寄与度} = \frac{(I_{\text{当期項目A}} - I_{\text{前期項目A}}) \times \frac{w_{\text{項目A}}}{w_{\text{総合}}}}{I_{\text{前期総合}}} \times 100$$

( I : 指数 w : ウェイト )

## 4 寄与度差

端数処理前の寄与度により計算する。表章は小数第3位を四捨五入し小数第2位までとする。

$$\text{項目Aの寄与度差} = \text{当期の項目Aの寄与度} - \text{前期の項目Aの寄与度}$$

### 【留意事項】

- ・端数処理前の数値については非公表となっています。
- ・名古屋市消費者物価指数において公表できる範囲は、中分類または財・サービス分類までとなっております。そのため品目別の数値については非公表となっています。